



未来は、ミルクの中にある。  
雪印メグミルク

2020年3月期 第2四半期

# 決算報告

2019年11月8日

2020年3月期 第2四半期		連結損益計算書		(億円) (億円未満切捨て)
	2019年3月期 上期	2020年3月期 上期	増減額	
売上高	3,053	3,116	+62	
営業利益	95	106	+10	
営業外損益	+6	+10	+4	
経常利益	102	117	+14	
特別損益	▲11	▲8	+3	
税引前利益	90	108	+18	
純利益※	64	77	+12	

※親会社株主に帰属する当期純利益

増減要因	【特別損失】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 災害による損失：2019年3月期上期 ▲6億円</li> <li>➤ 災害による損失：2020年3月期上期 該当無し</li> </ul>

雪印メグミルク Copyright © Meigmilk Snow Brand Co., Ltd. All Rights Reserved. 2

【連結損益計算書】

2020年3月期 第2四半期の当社グループの売上高は 3,116億円 前期比 +62億円の増収、営業利益は 106億円 前期比 +10億円の増益です。

経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益におきましてもそれぞれ増益となりました。

2020年3月期 第2四半期		連結営業利益増減要因の内訳			
2019年3月期 上期	2020年3月 上期	増減額	主なセグメント別の増減額		
95億円	106億円	10億円	乳製品	飲料・デザート類	飼料・種苗
			▲1億円	+13億円	▲0億円
<b>限界利益 合計</b>		<b>+6</b>	<b>▲2</b>	<b>+8</b>	<b>0</b>
販売単価差		+38	+3	+35	0
販売物量減少による利益減		▲10	▲3	▲8	0
製品構成差		0	+1	▲1	0
原材料コストの増加		▲12	▲1	▲10	0
オペレーションコストの増加		▲10	▲2	▲8	0
<b>固定費その他 合計</b>		<b>+4</b>	<b>+1</b>	<b>+5</b>	<b>0</b>
宣伝促進費の減少		+10	+4	+6	0
固定経費の増加		▲8	▲4	▲2	0
その他		+2	+1	+1	0

(億円未満切捨て)

(補足) 主要因を記載しています。内訳の詳細は、決算短信の補足情報をご参照ください。

雪印メグミルク Copyright © Meiji Milk Snow Brand Co., Ltd. All Rights Reserved. 3

【連結営業利益の増減要因の内訳（実績）】

乳製品セグメントでは、  
宣伝促進費の効率的な運用による増益要因があったものの、  
固定経費やオペレーションコストなどが増加したことから  
トータルで前期比 1億円の減益となりました。

飲料・デザート類セグメントでは、  
生乳取引価格の引き上げの影響などによる原材料コストの増加や  
オペレーションコストの増加があったものの、  
価格改定の実施に伴う販売単価差の影響や  
宣伝促進費の効率的な運用に取り組んだ効果などにより  
トータルで前期比 13億円の大幅な増益となりました。

結果として、全体の増減益ネットでは、  
前期比 10億円の増益、  
上期予想からは、4億円上回りました。

2020年3月期   連結貸借対照表 第2四半期				(億円) (億円未満切捨て)			
	2019年 3月期	2020年 3月期 第2四半期	増減額		2019年 3月期	2020年 3月期 第2四半期	増減額
流動資産	1,488	1,504	+15	流動負債	1,179	1,166	▲12
固定資産	2,105	2,123	+17	固定負債	727	719	▲8
総資産 3,627億円 (前期比 +32億円)				純資産	1,687	1,741	+53
<b>増減要因</b>							
<b>【流動資産】</b>				<b>【流動負債】</b>			
➢ 現金預金： ▲13億円				➢ 仕入債務： ▲6億円			
➢ 売上債権： +9億円				➢ 短期借入金： ▲7億円			
➢ たな卸資産： +21億円				<b>【固定負債】</b>			
<b>【固定資産】</b>				➢ 長期借入金： ▲10億円			
➢ 有形固定資産： +19億円				<b>【純資産】</b>			
➢ 投資有価証券： ▲7億円				➢ 株主資本等： +48億円			
				<b>自己資本比率</b>		<b>47.2%</b>	

雪印メグミルク Copyright © Meiji Milk Snow Brand Co., Ltd. All Rights Reserved. 4

【連結貸借対照表】

資産合計は3,627億円 前期末比32億円の増加です。  
 流動資産の増加は、  
 売上債権が9億円、たな卸資産が21億円増加したことが主な要因です。  
 固定資産の増加は、  
 建設仮勘定の増加などにより、有形固定資産が19億円増加したことが  
 主な要因です。

流動負債は、1,166億円、前期末比12億円減少、  
 また、固定負債は719億円、前期末比8億円減少しました。  
 これは、流動負債のうち仕入債務が6億円、  
 短期借入金が7億円減少したこと、  
 固定負債のうち長期借入金が10億円減少したことが  
 主な要因です。

純資産合計は 1,741億円、前期末比 53億円の増加です。  
 株主資本等が 48億円増加し、  
 その他有価証券評価差額金が 2億円増加したことが主な要因です。

連結経営数値ですが、連結自己資本比率は47.2%、  
 前期末比で0.9ポイント向上しています。

2020年3月期 第2四半期		連結キャッシュ・フロー計算書		(億円未満切捨て)	
		主な内訳		(前期)	
営業CF +136億円	税金等調整前四半期純利益 減価償却費 たな卸資産の増減額 (▲は増加)	108億円 80億円 ▲17億円		118億円	
投資CF ▲99億円	有形及び無形固定資産の取得 による支出	▲99億円		▲91億円	
財務CF ▲52億円	長期借入金の返済による支出 配当金の支払額	▲21億円 ▲27億円		▲39億円	
現預金増減額 ▲15億円	有利子負債	706億円			

【連結キャッシュ・フロー計算書】

次にキャッシュ・フローについてです。  
 営業活動によるキャッシュ・イン 136億円と、  
 投資活動によるキャッシュ・アウト 99億円、  
 さらに財務活動によるキャッシュ・アウト 52億円の結果、  
 現預金残高が15億円減少いたしました。

未来は、ミルクの中にある。



本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、本資料の予想数値と異なる場合があります。